

自己点検・評価報告書

自己点検・評価 報告書

麻生公務員専門学校 北九州校

平成27年度
(2015年度)

この自己点検・評価報告書は、麻生公務員専門学校北九州校の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

平成28年 5月 1日

校 長 竹内 常高

自己点検・評価責任者

校長代行 小原 秀史

目 次

基準 1	理念・目的	- 2 -
基準 2	教育の内容	- 3 -
基準 3	教育の実施体制	- 5 -
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	- 6 -
基準 5	学生支援	- 7 -
基準 6	学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7	社会的活動	- 11 -
基準 8	管理運営	- 12 -
基準 9	財 務	- 13 -
基準 10	改革・改善	- 14 -

評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する (不適合)

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神や教育理念、教育目的・目標については、麻生塾全体として統一された制度に則り、ホームページやパンフレット等を通じて校内外へ発信されている。また、これらの目標を達成するための計画も教職員会議等の結果をもとに作成され、保管・配布されている状況である。

主な課題及び改善の方向性

現状で十分基準を満たしている。しかし、建学の精神や教育理念、教育目的・目標について、今後は教職員間での共有の場面をより増やしていくことが望ましい。

中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。
理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

特になし

小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育理念や方針、行動規範などを盛り込んだ麻生塾オリジナルカードを教職員が携帯している。また行動規範は朝礼にて唱和している。パンフレットや募集要項などの印刷物に教育方針、行動規範、ビジョン、校訓等を盛り込み提示している。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生便覧などの印刷物やWebサイトの中で教育理念や方針等を盛り込んでいる。また同資料を用いて学生への説明を行っている。入学時だけでなく、グローバルシチズンの授業を通じてあらためて周知を行っている。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットやキックオフ資料で本校の教育理念を示している。また、教務会議で本校の教育理念や教育目標を校長代行が提示し、教員で検討する機会を設け、教員間で意見交換を行っている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「法人の理念」および「各校の教育理念」に基づいて、各学科の教育目的や育成人材像との目標を設定している。
「各校の教育理念」が変更された場合、教務会議で各学科の教育目的や育成人材像が見直される仕組みになっている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットやHPにて学科別の教育目標、年間タームを提示している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

Webサイトに教員と担当科目を提示している。教員のクラス担当・科目担当、教室割、予算書などを明文化している。

基準 2 教育の内容

項目総括

カリキュラム内容については、外部の方々の意見を取り入れ、検討・改善を行っている。また教職員についても、麻生塾全体として研修やアンケート評価、評価結果に基づく研修制度等を準備しており、質の高い教育サービスを提供できるよう制度を整えている。育成人材像やシラバスについては、作成・提示ともできているが、コマシラバスについては作成・提示とも一部の科目しかできていない。

主な課題及び改善の方向性

コマシラバスの作成・提示を行うことが次年度以降の課題。

中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

前述のとおり、コマシラバスの作成・提示を行うことが次年度以降の課題ではあるが、すでに各科目担当者に依頼済み。

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生便覧などで育成人材像、カリキュラム一覧表を作成・文書化しており、教職員・全学生に明確に提示している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

各学科を担当する教職員でカリキュラム作成会議を開いている。また、シラバスを前期後期それぞれの開講前に学生に配布し、説明を行っている。しかし、コマシラバスの作成は一部科目のみしかできていない。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育課程編成委員会には事務局・広報担当職員が参加している。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

シラバスについては、科目担当者間で話し合い整合性を図りながら作成しており、作成されたシラバスについては本校の共有ファイルで全科目集約管理している。しかし、コマシラバスは現在作成中のももあり、十分取りまとめや検証ができていない状況である。

中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

特になし

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年 2 回(前期・後期)実施している。改善の余地がある場合は、管理職による面談を行っている。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

各学科又は担当科目の教員により会議を行ない、教科書開発や情報共有など、授業改善のための組織的取り組みを行っている。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

教員研修計画を作成しており、教員のスキルアップを図るべく研修を実施し、教員が研修に参加している。

中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■自己点検・評価結果: S

■コメント

すでにキャリア教育、リメディアル教育とも十分実施している状況である。

小項目 2-3-8

該当なし

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

公務員リテラシーの授業内で、公務員の職種研究を行っている。またGCB教育にはキャリア教育を組み込んでいる。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

入学前の学生に対する課題や補講を実施し、また入学後も放課後に数学等の基礎教育を行っている。

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教育課程に対してふさわしい教員組織を満たしており、非常勤講師とも適切な協働関係にある。また、公務員採用試験に専念できる環境を整えるため、教室のほかにも面接指導室やパソコンルーム、トレーニングルームなど施設設備を準備している。

主な課題及び改善の方向性

適切な採用基準を確定していくことが課題。

中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
特になし

小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント
本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
各科目・分野別に教員が複数おり、必要十分な教員数といえる。また、年齢構成も 20 代・30 代・40 代と複数在籍している。

小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
各学科の教員及び管理職が定期的に非常勤講師の授業進捗状況を確認し、情報交換を行っている。また非常勤講師により作成された報告書を定期的にチェックしている。

中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
特になし

小項目 3-2-4

該当なし

小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
ラウンジや面接指導室を設置し、学生がパソコンや書籍を使用して就職活動を行っている。また同会場を用いて進路相談や面接指導を行っている。

小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
自治体へのインターンシップにあたり安全対策を含む注意事項を文書化し、実習前に対象学生に対して配布・告知を行っている。学生・生徒災害傷害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入している

小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。

小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

PC、複合機、コピー機、印刷機、10万円を超える固定資産は管理実施済みである。

小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果: C (不適合)

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても行っている。

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

項目総括

公務員採用試験の一次試験合格率、最終合格率、退学防止いづれについても目標数値の設定と教員間の情報共有をしっかりと行うことができている。

主な課題及び改善の方向性

特になし

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

受験対策について十分目標設定・情報共有ができているが、それに加えて公務員として現場で活躍できる人材を育成すべく、パソコンや簿記、ビジネスマナーなどの授業を行い、検定試験合格に向けた取り組みを行っている。

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教員間で共有している。期末試験の成績は麻生塾システムへ入力するとともに別表を作成・印刷して文書として保管している。また模擬試験等についてもデータを保管するとともに文書でも管理している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

事業計画書にて数値目標を設定している。設定した内容については教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教職員間で共有している。検定結果については、麻生塾システムへ入力するとともに、別表にて合格率を算出し、結果を分析。状況に応じた補講の実施や、次年度以降の指導に役立てている。

小項目 4-1-3

該当なし

小項目 4-1-4

該当なし

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教員間で共有している。また学生数の状況を教務室に掲示し、教員間で情報を共有できる環境を整えている。退学者・保護者・担任との面談を報告書として記録に残し、教員間でも情報を共有するとともに退学事由等を分析・集約し、事後の学生指導に役立てている。また、ホームページにて在籍者数や卒業生数に加えて退学者数を公表している。

小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員科独自の管理表(合格者一覧)にて内定先を管理するとともに、麻生塾システムにも最終進路先を入力しデータで保管している。

小項目 4-1-7

該当なし

基準 5 学生支援

項目総括

学校生活で学生が担任やスクールカウンセラーによる面談を常時受けられる体制にある。また、保護者を含めた三者面談も定期的に行っており、学生をサポートする体制はしっかりと設けている。さらに、奨学金制度も充実しており、学生を経済面から支援する体制も十分ある。

主な課題及び改善の方向性

特になし

中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

特になし

小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学直後や公務員試験申込前に担任と学生の面談を実施している。また成績や生活状況に応じて随時面談を実施し、その結果について記録表を作成し保管している。

小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

公務員試験に不合格となり民間企業への就職に切り替えた学生に対して、キャリアカウンセラーによる面談や指導を行う体制が出来ている。

小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

定期的にスクールカウンセラーが来校し、必要に応じて学生が相談でき、また随時メール等でも相談できる体制が確立されている。

小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する専用の相談メールアドレスがあり、専門の担当者の相談を受けられるようになっている。なお、このメールアドレスは学生便覧に記載されており、入学時に学生に告知している。

小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員試験の受験指導に当たって保護者を交えた三者面談を実施している。また成績や学校生活の状況、保護者からの要望に応じて面談を実施し、報告書を作成・保管している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾全体で統一された授業料免除制度があり、パンフレット等で公表している。また、日本学生支援機構など学外の奨学金制度が利用できる体制が整っている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学科の特性上、留学生や社会人は受け入れていない。障がい者に関しては受け入れた上、学校生活に支障のないよう各教員が協力して対応している。また障がい者枠の公務員試験の情報を該当学生に告知するなど特別な配慮を払っている。

小項目 5-1-8

該当なし

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

運動系・文科系クラブ活動を複数設けている。学生に対して1年に1度説明会を実施して、入部を積極的に促している。

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業後の同窓会での活動も活発に行っており、また卒業生に向けた民間就職斡旋も実施している。

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

姉妹校と協力して校友会を設置し、定期的に校友会総会を開催している。

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会の再就職斡旋希望者向けに、Webサイトを使用して求人紹介を実施している。

小項目 5-2-12

該当なし

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保護者、高校をはじめ学校外に対して学校通信や高校訪問、ブログなどを通じて十分な情報提供を行っている。

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年に2回、総会がある年は3回、学校通信を卒業生に配布している。Webサイトおよび facebook でも定期的に知らせている。

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

本校独自に作成している保護者向けの通信を毎月作成・送付し、学校の取り組みや公務員試験情報など情報提供を行っている。

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生の合格状況、就職状況を書面にして適宜訪問し、報告している。定期的な情報誌発行発信はない。

小項目 5-3-16

該当なし

=====
基準 6 学生募集・受け入れ
=====

項目総括

募集要項やパンフレットに育成人材像、入学試験の基準、学費等必要な情報を明記している。また、それに基づいて入学選考、入学手続きを行なっている。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

=====
中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

特記事項なし

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

募集要項にアドミッションポリシーを明記している。

小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

パンフレットに学科ごとに目的、育成人材像、目指す就職先、修得できる知識や技術を明示している。

小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

募集要項に学費の内訳、支払時期および金額、その他教材費等の概算の金額を明示している。

小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

募集要項に入学者の選抜方法を明示しており、入学者選考を公正かつ適切に実施している。また、広報会議で入学者選考を定期的に検証している。

小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

合格実績や公務員試験結果を、パンフレットやHPにて正確に公表している。また、卒業生の活躍についてもパンフレットに掲載している。

小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

特になし

=====
基準 7 社会的活動
=====

項目総括

本校が公務員として活躍できる人材を輩出することを目的としているため、学生には積極的にボランティア活動に参加することを促している。その中で現在北九州ボランティア大学校や社会福祉協議会、福岡県警察と連携して学校全体で社会的活動を実施している。

主な課題及び改善の方向性

特になし

=====
中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

特になし

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

北九州ボランティア大学校や自治体等と連携し、講義や活動を通じて学生にボランティアを推進している。また活動の度に報告書を提出させている。また、学則や単位認定に関する規定に従い、条件を満たした学生に対してボランティア活動に関する単位認定を行うことができるようになっている。

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

公務員志望の現役高校生を対象とする高2コース、高3コースの講座を開講している。

小項目 7-1-3

該当なし

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

北九州ボランティア大学校や北九州市、福岡県警、福岡県庁などと連携してボランティアを実施している。

=====

基準 8 管理運営

=====

項目総括

MM 会議や共有会議など麻生塾全体の管理・運営のための組織を設置している。また、本校においても、定期的な校職員会議や文書管理などを準備している。さらに、防災対策、ハラスメント対策なども組織的に対応できる体制を整えている。

主な課題及び改善の方向性

特になし

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

特になし

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

MM 会議、共有会議、校長代行会議、各学科における教務会議、就職年次における受験年次会議、全体教務会議等は定期的開催している。また、議事録を作成・発信し、指定されたフォルダに保管している。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

組織図や各種委員役割分担表などで各職員が職務分掌を理解している。また、年度開講前の教務会議で確認を行っている。

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示までにはいたっていない。

小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯対策に関するマニュアルが作成され、教務室内に常時備え置かれており、教職員がそれを見ることができる環境が整っている。また、防災・防犯対策に関するマニュアルの中に組織に関する規定があり、責任者の決定や各教職員の役割分担などが行なっている。

小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾全体として個人情報に関する規程を準備しており、同規程に基づいて教職員が活動している。

小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾全体で定められたハラスメント防止規程を作成・文書化しており、それに基づいて教職員が活動している。

小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾全体で作成した研修計画に基づき、教職員が必要に応じて研修に参加している。

基準 9 財務

項目総括

財務体制について、予算計画書・報告書の作成や会計検査の実施など適切な運営を行っている。

主な課題及び改善の方向性

特になし

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

特になし

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各校にて年度予算、中期計画書を作成している。

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

月次予算実績報告書を作成し、定期的な確認、分析が行われている。

小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務の作成した固定資産管理規程に従って管理されている。

小項目 9-1-6

該当なし

基準 10 改革・改善

項目総括

自己点検・評価に関する規程を定めており、各校から選出された自己点検・評価委員により構成される委員会を定期的に開催している。また、本校が取り組んでいる活動について委員を中心に定期的に自己点検・評価活動を行っている。

主な課題及び改善の方向性

特になし

中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検委員・評価委員会により点検を行い、教職員で協議の上改善を行っている。

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価報告書および作成マニュアルを準備している。学校で選任した自己点検・評価委員で構成した委員会を組織し、規程に従って点検・評価活動を行っている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価委員の活動や評価結果を教職員へ発信した。改善活動には教職員全体で取り組んでいる。報告書やメールにて結果を報告するとともに、定期的に自己点検・評価委員会を開催し、その中で活動報告や改善活動事例を共有している。

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価委員の報告で挙げられた改善項目についてチェックシートを作成し、改善計画を策定し実行している。また同内容は毎年度点検を行っている。

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年1回開催する学校関係者評価委員会の中で、委員に対して結果を公表している。またホームページ上でも結果を公表している。